

7 月 10 日 年間第 15 主日

行動における愛

ルカによる福音書 10 章 25 ～ 37 節

²⁵すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」²⁶イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、²⁷彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」²⁸イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」²⁹しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。³⁰イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。³¹ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。³²同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。³³ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、³⁴近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。³⁵そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。「この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。」³⁶さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」³⁷律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

他の朗読：申命記 30:10 ～ 14 詩編 69:14, 17, 30, 31, 33, 34, 36, 37 コロサイ 1:15 ～ 20

Lectio …読む

ある律法の専門家がイエスを罫にかけようとして質問をします。イエスは彼の心を見抜いて、ご自分の質問に答えるように彼に頼みます。律法の専門家は、神を愛することと隣人を愛すること、というユダヤ教の教えを総括する正しい答えをします。

しかし、律法の専門家はイエスより自分が優れていることを見せようとして新たな質問をします。「わたしの隣人とはだれですか」と。イエスは「善いサマリア人」として今日知られている、力強いたとえ話で応えます。

イエスは追いはぎに襲われ殴りつけられ、道端に倒れている人に出会う 3 人の反応を対照的に紹介します。最初の二人は、祭司とレビ人であって、宗教的な権威をもつ立場にありました。彼らは律法の細かい規則に従うよう努力していた人々ですが、この場面で最も重要な掟のひとつに従うことができませんでした。

サマリア人であった 3 番目の人が良い隣人としてふるまい、この人を助けます。このたとえ話がとても衝撃的であったことを正しく認識するためには、この問題の中にある、長く続く強い憎しみを理解しなければなりません。ユダヤ人はサマリア人を見下し、彼らを「汚れた者」で、異邦人に等しい者だとみなしていました。イエスはユダヤ人ではなく軽蔑されている外国人を用いて、この宗教の専門家にどうやってユダヤ教を生きるべきか教えています。

このたとえ話を通して、イエスは私たちがいつも、助けを必要としているいかなる人に対しても、隣人にならなければならないことを明らかにしています。それは前に会ったこともない人かもしれませんが、異なる人種や宗教背景から来ている人かもしれませんが、それでも私たちは彼らの隣人なのです。

Meditatio …黙想する

祭司とレビ人はどのような理由で男を助けなかったのか、ということについて考えてみましょう。自分自身にこれらに似たような態度がないでしょうか。他の人のために行動できるように、私たちはどんな動機づけを必要としているのでしょうか。

助けを必要としている人の力になるために、この箇所から私たちは何を学べるでしょうか。イエスがあなたのためにしてくれたすべてのことを思い出しましょう。

イエスは「それを実行しなさい」と言っていることは重要でしょうか (28 節、37 節)。ヤコブ 2 章 14～17 節はこれをどのように照らしてくれるのでしょうか。

Oratio …祈る

詩編 69 編の導きによって、あなたが愛している人とあなたの助けを必要としているように思える人々のために祈りましょう。

Contemplatio …観想する

コロサイ 1 章 15～20 節を何度もゆっくりと読んでみてください。その後 1、2 行ずつに分け、そこに表現されているキリストの偉大さの意味を観想しましょう。